

18禁



おいでよ!

ナザリックのふたなり牧場

生猫亭

失礼しますアインズ様

コキユートスの希望でも
あるしなウイッシュ・
アボン・ア・スターで
生やした生殖器や触手
でも子作り可能かの実験だ

おや...
お世継ぎ作りの
最中ではしたか...
これはとんだ失礼を...

それで何のようだ?
デミウルゴスよ...

は羊の牧場...
羊の力に...
羊の力に...
羊の力に...
羊の力に...

ああ...
ああ...
ああ...
ああ...
ああ...

いやよい...
皆も聞きたい...
だろうし...

はい...
それで...



まずアイズ様と
戦ったあの愚かな
女ですがあの
二ユーロニスト
に渡しておきました。

拷問着殿
苦しんで
痛いのだから
よくなるまで
あげては
どうかは？

ほーら
尿道からも
ちゅーちゅー
吸っちゃう
わよーん♡

ちゅーん
ほーら脳みそちゅーん
つて吸つてあげま
からねー

やべえええ
脳みそこれ以上
パシワナイじええ
頭パーになりゆう

うもーい
うもーい
うもーい

あの反抗的
な女がどれ
くらいベツ
ツツられるか
の変態実験
をする為

しょうがない
わねーがほ
いマソが
いいアソ
にあげる
わよー

ほーら
マコもお尻の
穴からもちゅ
ーちゅー
吸ってあげる
わよーん♡

あーん
あーん
あーん
あーん

やうべし
おいにおぎ
おたおぎ
もぐおぎ
ぢりおぎ
いぐおぎ
いり尿
道い

あへえぎもち
いいでしゅ
いいでしゅ
☆☆☆☆

気持ちよければ
笑顔でピース
してねーん♡

ほう…
で結果は？

結い果として脳を
知れることとで
記憶の程度や
記憶の性癖まで
変更することが
可能と判明しました。

ほら虫けら
お前の大好きな
肛門よ

えへええ
素敵く
大好きく
♡

ふふそんな
好きなら
サービスし
てあげるわ
それ

ああ
ご主人様
のオナラ
♪

ふふ...変態ね
それじゃあ私の
肛門に奉仕する
ことを許可
してあげるわ

自分のことを
クソめく
尻の穴の
裏のメス
を刺す
のを
楽しむ
ことを
主として
楽しむ
のが
この
犬の
使命
だ

うひゃ
肛門
美味
しい
で
舐
め
て
い
たい

ふふ
嬉し
いの
？

虫かた
なにして
は
上手に
ほら
奥まで
挿入
して
舌を
挿入
して
舐め
て
あげ
なさい

なるほど
精神操作
魔法
により
ただ
二
三
分
で
か
か
り
す
ぎ
る
し
か
な
い
と
い
う
こ
と
は
あ
り
ま
せ
ん
か

天啓
が
あ
り
ま
せ
ん
か
二
三
分
で
か
か
り
す
ぎ
る
し
か
な
い
と
い
う
こ
と
は
あ
り
ま
せ
ん
か
二
三
分
で
か
か
り
す
ぎ
る
し
か
な
い
と
い
う
こ
と
は
あ
り
ま
せ
ん
か



次にアダマンタイト級の冒険者チームの副リーダーは、他の人間より高目です。

イビルアイとかいう女以外は何も魔法で殺さなげな使用に気をつけないで、様々に実験して使用すると、あつて使用してみたら、どうなるか……

ふづふづ

デミウルゴスさん
ここでは何を
してらるんで
すか？

でも残念ながら
苗床は普通の
性能は普通の
人間とくに
変えらな
いからね……

いざいざ、人間として
高いレベルの
性能を
求めるなら、
それこそ
人間よりも
高レベルの
生物を
使うか
……

ふむ……そうか……うん？
イビルアイか……
その外は、
どのくらい
高いか……
Lが……

特異な
能力は
あつた
……
……
……

そうなんですか……
それは残念ですね……

なにか……
……
……
……

ザイメンの
……
……
……



ついでにはアイントマ
の希望ではア
希望以外はず
好みにしは
好きに与えたい
と貸すか？
よろしくうか？

この世には痛
目から返さ
か上お返し
そこの穴に
掛物をは
をあげて
お腹に
あけて
黄袋を永
黄袋を永
黄袋を永

やめろ
無理だ
やめろ
やめろ
やめろ

くこの私が
こんなウ
ウコが止
このこれ
くこの私が
こんなウ
ウコが止
このこれ

それはな
面白
オマ
どう
どう
どう
どう

この世界の伝説的な
吸血鬼と聞きたから
見学に来た
ありんか？
こいつが
こいつが
こいつが

ああなるほど
あいつも恨み
晴らした
しな殺
しな殺
しな殺
しな殺

さすが
シヤル
でグ
でグ
でグ
でグ

これはこれは
シヤル
シヤル
シヤル
シヤル

まあそう
がと
がと
がと
がと

うぐ
うぐ
うぐ
うぐ
うぐ

それ
それ
それ
それ
それ



ついでだから
鼻の穴から
ご馳走する
ありんすよ

それ金太パン
になりましか
それじゃあ今
たしつぷり
で射撃させて
あげるとありん

きやははは
これ汚い
ザメは汚い
花火ね

無様に泣い
ちやついで
いちゃついで
つかいちゃ
ますうちや
うううう

もうげえし
もうげえし
もうげえし
もうげえし

この豚はエ
の穴に尿道
ありんすよ
で感ずるよ
の感ずるよ

ほげえし
ほげえし
ほげえし
ほげえし

とところま
とところま
とところま
とところま

はい、それで
おかげでいま
おかげでいま
おかげでいま

豚...あなる
豚...あなる
豚...あなる
豚...あなる

あーん
あーん
あーん
あーん

いっしょに
いっしょに
いっしょに
いっしょに

あーん
あーん
あーん
あーん

あーん
あーん
あーん
あーん

あーん
あーん
あーん
あーん

ぶち
ぶち
ぶち
ぶち

やべえ
やべえ
やべえ
やべえ

しゅ
しゅ
しゅ
しゅ

しゅ
しゅ
しゅ
しゅ

しゅ
しゅ
しゅ
しゅ

ぶち
ぶち
ぶち
ぶち

ぶち
ぶち
ぶち
ぶち

ぶち
ぶち
ぶち
ぶち



君としての復讐と
エンゲルマンが
お家ととして飼
あけの畜に相変
た婆に相変ねえ
だ変ねえよてい

ナザリツクに
刃向かいた愚か
で相応しい姿
でさうか

そやれやれ
きと思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて
そよ思つて

な、何だ！
私の身体に
何をした！

くそ！戻せ！
元の身体に
もどせえええ！

やめえい
びみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい
のうみえい

イビル
後からアイ



はミウルゴス様
素直な可愛いも
名前も可愛いわ
あつて名前も可愛

イビルコブタ
良いかな
それ以外の豚も
仲良くつる

えええ
食事も終わつたし
もうすぐ始まり
ますよ

その後です？
エソンのベツマ
の例の子は？

ほう
それは見もの
です

いはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも
ないいはいやなんだも

チンポ3本
に金4つ本
で性欲はささい

プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ
プホッ

お同士
お交尾すね

アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ
アイビ

次に以前ナザリックに侵襲した魔術師の手足を切り離し、改造したオナホにそれをからナザリックのおもちゃとして使えるかどうかと耐えさせるテストを施しました。

ひっ！
やめて！
許して！

おやおや、盗人のつくせに、随分勝つてですね。まあ、さすがに、気持ちはいいこと、以外はどうでもよくなると思いませんよ。

元の姿に戻して！

まあ痛みではなく快感を与えてあげるので、感謝してほしいですね。

それでは、耐久性と耐キマストと、いいようか？

返家して！

（握えたワーカー！…ああ、イミナーナとアルシエとかいうあの女共か）
ふむ…薄汚い盗人共には相応しい姿だな…まあ、好きに使おうと

むん…

むん…

むん…

ふん…

ふむ…6時間、つたつた、まだ射精も、まだだ、どうやら、問題はなさそう

むん…

ふん…



みんな準備はできた
ようね！チンポギンギン
に勃起してるわ！

耐久テストの
結果ナザリッの
おもちやとして
申し分ない性能
でしたのでメイド
さつそく用にと
違の遊びました。

ルプスレギナは
特にしばらくは
気に入ってたが
ようです！

まったくゴキク
はたいさうな
みはかたし
にみはかたし
にみはかたし

それにしては
デミウゴス
様も幹な
をこたく
オナホを
なオナホ
を頂ける

いやーちゃん
やソリヤン
じやないっすよ

ごまこん
ちあも
味わえん
感謝して
すねほん
か

それじゃあ
さつそく！

オナホ肉便器
穴とパイプ
使わせて
もらうっすよ！

フグッ

そうね！自分から動いてく
オナホを動かすのは
オナホを動かすのは
オナホを動かすのは
オナホを動かすのは

ふうまんこもいい
けどケツ穴も
効くわね...

とこの場所で
射精防止トは
のためかしら...

そうね...パイプが
射精する必要
ないわけだし...

いっしょ
いっしょ

あらあら
この便器も
ウツコも
射精の出し
のウツコも...

便器のくせに射精
を懇願したりとか
なついてないとか
使ったのはウツコ
私止めるのウツコ
受けた止めるのウツコ
仕事するのウツコ

おはっ♡♡♡
おはっ♡♡♡
おはっ♡♡♡

射精させしめて
射精させしめて
射精させしめて

うげんせ

たまたま残念なことにはばら
あきつたよにしようがどく
排せつするのを
あんなにいいメロイでなく
おたあにいいメロイでなく
おたあにいいメロイでなく
おたあにいいメロイでなく
おたあにいいメロイでなく

いやいや...
いやいや...
いやいや...

次に実験の本命とも
ついでに異種交配に
ついて報告させて
いただきます...

の牝交あ増交よはよ主モナ
でか配まるにう自るンにンザ
すなしりるににも召ルイタク
せよおもよもポ喚...テンーはの
かうりまはてばプまたア様
かにせん...かりるに

相化性ふたなり化して
手したたモンスタ
タリし牝ではは
でしはは

ですのたを
人間的なモンスタ
をついて増やせ
を自然に増やせ
ないかどうか
実験を行いました。

どの優れの実験
の先く順位は
とるのたて
いるのだてい

お取事実まる子モ高ナは
りり項験すこの孫ンレザい
ま組とのののがスベリ...成
すんし最でに作タルツク功
...でで優なり！ののす
...先 りののれば



ゴブリンのドマンター
オザワのモンスター
リザードマンが
様々なモンスター
と交わらせて
みなので
残念がら
今なところ
妊婦とやら
お邪魔せん！

あへええ
子宮に
いっばいの
ざーめん
あふれりゆう

この世がたら人間
の生殖器官はなる
可成り変わったので
でも性は試してケツ
みました。悪者の御方
の知識によると
オトコノコはケツ穴
で妊娠するものらしい
ですし、一部のモンスタ
ーにもそのよつなものが
おりますゆえ！



びん

あんなあんな
オマンコ
オマンコ
オマンコ

あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

おほっ☆
おほっ☆
おほっ☆
前立腺が
しゅいしゅい

おおー突き
ごとに出される
うつつっっ



いやそれは
無くて最初から
だといふ俺が今も
子作りもこのまま
超魔術で可能な
そなたの念
だそつたな

いやそれは
無くて最初から
だといふ俺が今も
子作りもこのまま
超魔術で可能な
そなたの念
だそつたな

喉が潤いたでしょ
アレルシエちやんよ
それじゃあたぶん
飲むといいでありんす

どうかしち
メス犬シッコ
私のオシッコ
美味しい?

美味し
味ワッ
シヤッ
オヤッ
のシヤッ
牛犬の
牛犬の
でなす
でなす

この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に
この補給に

おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に
おや誰がお前に

紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま
紙一八全私床そま

はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ
はわわわわ

うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!

うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!

うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!
うぐっ!



誰が勝つてに
ありいっすか！

ばあっ

うむ
ううう

おほっ
おほっ

も...申し訳
ありません
シヤルティ
様...我慢
で...ません

うん...
おほっ
あんなに

うん...
うん...
うん...

うん...
うん...
うん...

ア...
汚...
黄...
が...
で...
ま...
す...
:

あ...
オ...
ナ...
ラ...
ん...
す...
!

あ...
掃...
除...
す...
る...
よ...
で...
:

そ...
う...
な...
だ...
な...
...

うん...
うん...
うん...

ど...
う...
私...
の...
い...
匂...
い...
で...
し...
よ...
?

ま...
た...
使...
つ...
て...
く...
だ...
さ...
い...
:

ま...
あ...
つ...
み...
る...
な...
さ...
い...
:

一...
掃...
除...
す...
る...
よ...
で...
:

次はカルネ村の現状について...

助けてゴ布林さん!

カルネ村! そういえば例の笛を渡したカルネ村の娘... エンリはどうして使用したの...?

いや、見ても姉さんのボロっすね、でかい

はい、そのことにルプスレギナによるとゴ布林を呼び出したその際、副作用として、同時に股間に巨大なイチモツが生えたそうです

もわ

...さすがはアインズ様! その通りです! ゴ布林達のは、高揚したゴ布林村は、主にゴ布林達による要塞化が進んでおります

いや、姉さんの腋の匂いは最高です!

えへへ、皆さんのために3日ほど洗ってないんですよ!

その際、近づくのを避けたら、ゴ布林の身体にイチモツの力で使役して、よ

もう皆さんからかわないで始めますよ!

溜め込みは最高です! 姉さん濃厚です!

姉さん! 俺らのチンポもお願いします!

えっ? あれにそんな効果があったっけ... それに受け入れられるの... 私狙いの結果になっけ

あ、ゴ布林のチンポもくさるよ!

あー、ポンがっ!

俺らも風呂入って

とりあえず実験
異種交配する
は今後も続ける
とは後実ける
実し可な
家畜の産手
致しまいた

それにしては
無様な排せつ
もガラスにつ
間も擦りつけて
オナニちんぽ
オナニちんぽ
してかない？

ね私の通
でしよ？動物
朝あえて閉じ
やることなん
ないって#



え？誰だっ
し？家畜の
なにか一々
覚えてないわ



ナベラル
あの北の調
任されたこと
でしよ？ご主人
嬢じいんじや
ないの？

さすがアイ
見事なアイ
アアアア

そうだね
アウラ

ナベラルは
相変わらず



ただ若干
効率が悪い
かもしれない
男役に徹する
家畜もいるよ
うだし...

じゃじゃあ
どうなのよ
うか...

ふむ
聞かせて
もらおう
かな...

ア...ウ...と...の...見...よ...う...に...
探用したのよ
合わたらな
家畜を飼育
するのよ
思わぬ増え
たから目撃
されたよ
家畜の飼育
場を閉鎖さ
せられたよ
七ツ若くは
家の敷地を
たすけよう
としたいよ
このまま
お前さんの
お家にお
いでよ



はアナは
いーり
ツツ
子ズ
たが
だき
ます
ばら

先日とらえられたが
中まにたは
いーり
マザリ
ナ化の
強作に
子戦して
挑し
ました

わー！これは
エルフですか？

とここで
マーレ
その

ええ先日
ナザリ
が優れて
この世界
エルフ
です

君にはこの娘
を孕ませ
て
ほし
この
世
の
エル
フ
と
ナザ
リ
の
間
で
ど
う
か
不
明
だ
が

この時はセックス
の正装はオトコ
のとき装束は
茶と白のまふ
頂上はさものだ

成功すればVの
相手が誕生
工ルが
期待できるんだ

どうかね
マーレ？オマン
初め挿入するの
は

はい！いつでも
気持ちいいです

終わったよ
だね！この
一匹いんだ

あー！それじゃあ
おねーちゃん
の作りでしよう

My
お

ぼん

なるほど！
マーレ君は
天才だ

それはよかつた
ほらもつと腰
を振つて
遠慮なく
射れたまえ

ずぶ

え？

以上で成功した交配
経産期の異種交配
は成育の速い種を
選んで交配する
のが、繁殖の進歩
の大きな要因です。

排泄物は、牛舎の
敷居でホース
で回収し、堆肥
として利用す
る。また、牛舎
の床は、糞尿
で汚れるので、
定期的に消毒
する。

妊娠した牛は、
専用の牛舎に
入れ、静かに
育てる。出産
後は、仔牛を
母乳で育てる。
母乳が不足し
た場合は、代
乳を使用する。

妊娠した牛は、
専用の牛舎に
入れ、静かに
育てる。出産
後は、仔牛を
母乳で育てる。
母乳が不足し
た場合は、代
乳を使用する。

お乳の入る容器は、
必ず消毒する。
また、牛舎の
床は、定期的に
消毒する。

お乳の入る容器は、
必ず消毒する。
また、牛舎の
床は、定期的に
消毒する。

素晴らしい
デミウルゴスー

いろいろ引いた
結果的には...



数カ月後…



思ったより
かなり苦
しやが
こまら
ぶらと
完成し
よしま
ししよ

ふうや
どうやら
全員順調
にモンス
タの
子供を
成す
たよ
うで
すね

ナザリック
の未来永劫
の存在として
無敵の存在
で生きること
に
なる

これらの実験
の結果は
すばらしい
結果が
ありま
すね

さそ
アイル
に報告
しまし
ようか

次回があるかどうか分かりませんが
次は守護者を中心にした話を描きたい
と思います。

それでは今回はこの辺で失礼いたします。
ご覧頂きありがとうございました。

奥付：



名：おいでよ 楽しいナザリックのふたなり牧場
生猫亭
chan shin han
：2015.12.31
金沢印刷
：necoconecosan@moon.sannet.ne.jp

小説：
本文：happy holic 香坂カヤコ
挿絵：chan shin han

どうもchan shin hanです。
今回、生猫亭の「オーバーロード本」
をお手にとって頂きありがとうございます。

はっきりいって小説を読んでない人にとって
登場人物がさっぱりな本ができてあがりました。
もう少し守護者を中心にするつもりだった
んですが牧場部分をたくさん書きたかった
のがあったので守護者の出番がめちゃくちゃ
減ることになってしまいました。

マーレとアウラの絡みとかもって描いてし
シャルティアのアルシェ調教は6pくらいは
かいてたんですが(ラフですが)尺が足りま
せんでした。エンリの話も圧縮したし
アルベドさんがモモン大好きホールドで
脱糞することか描いてたんですが丸々
カットですよ…アルベドとかまったく手がまわ
らなかつたので友人の香坂さんの書いてくれた
次のページから始まる小説が小説がアルベドの
話で助かりました。(香坂さんありがとう)

はあ、と艶かしい吐息が一つ漏れる。

アルベドは、アインズの寝室で愛しいものの姿がプリントされた抱き枕とともにベッドの上で腰をくねらせていた。

定期連絡でナーベラル・ガンマからアインズの様子はわかるとはいえ、ずっと姿を見れずにいるのは寂しい。その寂しさを紛らわすために、また愛しい御方が戻った時に自分を存分に感じてもらいたいと、アインズがエ・ランテルに情報収集のために行ってしまったからは、ここで毎日数時間過ごすのが日課となっている。

「ああ、アインズ様……」

切なく名前を呟き、アルベドは股間にある形の変わったものを、枕に押し付ける。

纏うものはベッドカバーのみ。その中で荒い息を吐きながら、アインズ抱き枕を抱きしめ腰を押し付ける。柔らかくスベスベとしたそれはアルベドの手作りで、彼女のものを心地よく刺激する。

「アインズ様、そんなにしては……」

彼女の妄想の中では、アインズは愛の言葉を囁きながら、アルベドのペニスを骨ばった——というより骨そのものの手

で包み込んで扱っている。

陰茎を優しく擦り、鈴口に指先をつぶりと入れる。

「だめ、もう……っ」

ふるりと肩を震わす。

脳内のアインズは「醜態を晒しながら無様に果てよ」と命令を下す。

彼女にとってアインズは唯一無二の存在で、絶対君主である。そんな主君の命に従うのは家臣として当然のこと。

「あう……恥ずかしい私の姿を……どうか……どうかご覧下さい！」

アルベドは己のペニスの角度をやんわりと調節すると、あへええ、とだらしのない声と共に抱き枕に向かって射精する。

びゅるっ！　びゅるるるるるるっ——

最初に大きく射精した後、小刻みに震えながら何度かビュルビュルと枕に打ち付ける。

「申し訳ございません……何卒お許しください。すぐに綺麗にいたします」

命令とはいえ臣下が主を汚してしまっただから、すぐさま謝罪をし自分が吐き出したものに舌を這わせる。頬を紅潮させ、どろりと白く濁った液を舐め取ることに夢中で、扉がノックされたことには気づかなかった。



ぐんぐん

ぱんぱん

ぴん

ずい

ぴん

あー♡

びんびん

ん

ん

ん

名を告げて入ってきたデミウルゴスに名を呼ばれ、初めてその存在を視界に留める。

何をしているかと尋ねる彼に、悪びれることもなくアルベドは答えた。

無論「オナニーよ」なんて情緒の無い答え方はしない。主君が戻ってきた時に自分の香りで包んで差し上げたいと、それは美しい表現で。

いずれここでアインズと初めてを迎える日が来ると信じている。その時のいわば練習みたいなものだ。

アルベド以外にもシャルティア以下多数の女性がいるこのナザリック大墳墓で、自分が一番に召されなければならない。そして何度も寵愛を受けいずれ跡継ぎを授かる。

正妃。なんて甘美な響きなのかしら——
アルベドはうっとりとする。

「だらしない顔をしているところ悪いですが、失礼しますよ」
ベッドカバーをデミウルゴスに剥ぎ取られ、アルベドは我に返った。

「何をするの」

「これはまたわかりきったことを」
デミウルゴスはアルベドに覆いかぶさる。

「一人で慰めて満足する貴女ではないでしょう？ 欲求は適度に満たしておかなければ任務に支障を来たすかもしれませ

んからね。お相手しましょう。まあ、こちらの穴はアインズ様のために純潔を保たれていればいいでしょう」

そうは言いながらも、デミウルゴスは冷静だった。

アルベドのような美女とこのような行為に及ぶことができるのであれば、人間ならば興奮して鼻息荒く彼女を組み敷くのが当然というもの。

しかし悪魔であるからか、彼の態度は事務的で、性的興奮を微塵にも感じさせなかった。

「では」と一言断りをいれて、デミウルゴスはアルベドの後ろの穴の方に指を突き立てる。それと同時に果てて萎びているペニスにも手を添えると、へにやりと彼女の腰にある黒い翼が降伏を示すかのように垂れた。

「待って。この体はアインズ様の——」

「ええ、私も貴女の味方ですよ。だからオマンコには一切触れません」

デミウルゴスは優雅に微笑む。そして。

「んううっ……」

ズブズブと押し広げられるように指をアナルに挿入され、アルベドは声を上げる。ここに受けるこの感覚は初めてではないような気がした。

無論、アインズからは戯れでもこのようなことをされた記憶はない。まだ胸を揉みしだかれるまでだった。

愛してやまない主君のために操を立ててきたはずなのに、一体何故と快楽を与えられながらぼんやりと考えるが答えが出ようはずもなく、だんだんそれに流されていってしまふ。そもそも彼に触れられて戸惑いはあったものの不快ではなかったのだから、この行為に適應してしまうのも早かった。「貴女は目を閉じてアインズ様のことを考えていればいいですよ」

「あっ……ああっ」

全く息を乱すことも無く、普段の動作とあまり変わりのないような振る舞いのデミウルゴスとは対照に、アルベドの息はだんだん荒くなる。

指なんかよりも、もっと——という欲求が湧き上がり、ぞくりと粟立つ。

これではまるでピッチではないか、とアルベドは否定するように首を振った。

だが、もともとの彼女の設定がそうなのだから拒めるはずがない。

アインズがユグドラシルのサービス最終日、最後の最後でアルベドの設定を見て戯れにその部分を変更した。それに伴いピッチ設定と紐づけられた行為はアルベドの記憶からなくなっていた。

アルベドは、ピッチであった時も至高の御方に操を立てて

膣での行為はしていなかったが、そのかわりアナルの方では随分と遊んだものだった。特にデミウルゴスを相手には数え切れないほどに快楽のみを貪る行為を繰り返してきた。至高の御方を待つ間寂しさを紛らわせるため、余りある時間に捨てられたと思わされるようで、そう思いたくなくて何度も何度も。

「では、入れますね」

「ひっ！ あぐう！ ああああっ!!」

一言断りと入れてから、アルベドの中にデミウルゴスの凶悪なものが入ってくる。

硬さ、太さともに人間のレベルで考えれば規格外のそれが埋め込まれていく。

痛みは無く、強烈な圧迫感もすぐに快楽へと変わる。

ただ、同僚に浅ましい姿を晒したくはないという羞恥心のようなものはあり、お互い四つん這いで彼と重なりながらもベッドシーツを握り締めながら唇を噛む。

「それはアインズ様との時の練習ですか？ 確かに、サキユバスの本能のまま動くよりもそうやって恥じ入りながら御方に身を預けている方が可愛げがあるかもしれませぬね」

なるほど、と一人勝手に納得しているようで、頷きながらデミウルゴスは後ろから更にアルベドを貫く。二人の汗などの体液がシーツに染みを描いていく。

「ふっ、うっ！」

直腸を穿つ感覚に気を遣りそうになるのを堪えながらアルベドは唇を結んでいる。

ペニスを啜え込む場所がより一層の湿り気を帯びた音を立てて、デミウルゴスの高まりを教える。アルベドの腸液だけでなく、デミウルゴスのものからの滴りも混ざり合ってきているからだ。

アルベドは、ぐいと下腹に力を入れデミウルゴスのものを締め付ける。

この行為自体に不思議と嫌悪はなかったが、アインズを想いながらこのままここで彼にイカされるのも憚られる気がした。

どの道この宴は雄が果てるまで終わらないのだから、先に çıkさせて終わらせてしまおうという魂胆だ。

「ああ、貴女も限界が近いんですね。どんどん快楽を貪ると良いですよ」

「え？ あ、ちょっと……ひゃうん！」

放置されていたペニスを握られ、アルベドから情けない声が出た。

「待って、やめ！ あひっ！ あああんっ！」

それまでもある程度硬さと角度を持ってはいたが、的確な場所を彼に刺激され、アルベドのペニスは最高潮に腫れ上が

る。

「ニュチュッ！ にちゃにちゃっ！ くちゅっ——」

龟头から涎のように蜜が垂れ、くるくると円を描くように手のひらで執拗に撫で回される。陰茎をスナップを効かせてリズムカルに扱かれれば、それを追うようにアルベドの腰も動く。自分のものもパンパンに膨れ上がっているが、彼のものもまた同じように膨れている。

「んおっ！ んはっ！」

圧倒的な質量を中で感じながらアルベドは獣じみた声を上げる。

「ほら、貴女はここをこうされるのも好きでしたね」

デミウルゴスは、彼女のたわわな胸をムニムニと揉みしだき、既にコリコリの勃起している乳首を摘み、指を摺り合わせるように扱く。

「いひい！」

アルベドは、弱いところを同時に攻められ、視界に星がチカチカと光が散るような感覚に眩暈がする。出口を求めて彷徨い渦巻いていた欲望は、ようやくそれを見つけたかのようになり、一気に加速する。

腸内を蹂躪する高速ピストンにあわせ、彼女も腰をグイグイと押しつけ動かしながら最後の時を待つ。

「アインズ様の寝台を汚すわけにはいきませんからね、中に



んほろろ

んぐらう

んぐらう

んぐらう

んぐらう

んぐらう

んぐらう

出すのでどうぞ受け止めて下さい」

最後まで情熱的な態度を取ることもなく、落ち着き払ったままですう告げると、ねっとり粘度の高い精を腸壁に叩きつけるように吐き出した。

「あ、らめ！ らめなの！ イク！ イツちゃう！ んおとおおとおおっっっ♥」

びゆるるっっ!! びゆるびゆるびゆるるるっ! びゅ、びゅーっ——

対してアルベドは痴態を晒しながら、腸内に射精された刺激がトリガーとなり、絶頂する。アインズ抱き枕の顔の部分に思う存分欲望の証をぶちまけた。アインズ本人ではないとはいえ、至高の御方を模ったものに射精するのは背徳的で罪悪感を多少なりとも感じていたが、体だけは満足感を得ていた。

「それでは、失礼します」

デミウルゴスは瞬く間に身支度を済ませ、既に扉に手をかけていた。言葉に抑揚はなく、乱れている風でもない。表情もいつもの平静な時のままで、今までアルベドとそのような行為はしていたのは嘘のようだった。

一方アルベドも、彼の言葉は耳には届いていたが、反応することはなかった。久々の性交の余韻を楽しんでいるかのようになり、しまりのないだらしない顔をしながら、愛しい御方の抱き枕を虚ろに見つめていた。

いつかここにアインズに召されて、その時を迎えるのを夢見ながら——

for adult only

2015.12.31

namanecotei